

令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：農業政策課
 担当名：企画・試験研究調整担当
 内線：4035 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P5	農業技術研究センター試験研究費(畜産)			一般会計	農林水産業費	畜産業費	畜産研究費	農業技術研究センター費		
事業期間	昭和37年度～	根拠法令	農業改良助長法、地力増進法、土壌汚染防止法、埼玉県主要農産物種子条例			針路分野施策	12 1202	儲かる農林業の推進 強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsゴール 2 SDGsターゲット 2-4	
1 事業概要	埼玉畜産業の競争力を強化するため、「埼玉県農林水産業試験研究推進方針」に基づき、研究開発を行う。 ア 環境変化に対応した技術の開発 執行節減による減 △4千円 イ 省力、低コスト、高品質生産技術の開発 執行節減による減 △11千円 ウ 調査及び受託研究 提案公募内容の変更等による減 △3,487千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 環境変化に対応した技術の開発 3,310千円 イ 省力、低コスト、高品質生産技術の開発 6,849千円 ウ 調査及び受託研究 16,348千円 (2) 事業計画 ア 環境変化に対応した技術の開発 1課題 イ 省力、低コスト、高品質生産技術の開発 3課題 ウ 調査及び受託研究 5課題 (3) 事業効果 開発した新技術を普及することで埼玉畜産業の競争力を強化する。 【活動指標(アウトプット)】試験研究課題数 9課題 【成果指標(アウトカム)】成果発表会の開催 1回 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 国立研究開発法人(農研機構等)、都道府県公設試、大学、民間企業や農業者と共同して国庫資金等を活用して研究開発を実施する。また、農業関係団体、民間企業や農業者から委託を受け、問題解決のための試験研究を行う。 (5) 補正予算の概要 ア 燃料費の執行節減による減 イ 燃料費の執行節減による減 ウ 燃料費の執行節減による減、提案公募内容の変更による減						
2 事業主体及び負担区分	(団体10/10、県0) (県10/10)									
3 地方財政措置の状況	なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×25人=237,500千円									
予算額		財源内訳							一般財源	補正後の 予算額
		財産収入	諸収入							
決定額	△3,502		△3,434					△68	23,005	
現計額	26,507	5,710	14,101					6,696		

事業内訳書

事業名	農業技術研究センター試験研究費（畜産）		
単位事業名	環境変化に対応した技術の開発	予算額	△ 4千円

○歳入

（単位：千円）

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△4	—	
合計	△4	—	

○歳出

（単位：千円）

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△4	—	燃料費の執行節減による減
合計	△4	—	

単位事業名	省力、低コスト、高品質生産技術の開発	予算額	△ 11千円
-------	--------------------	-----	--------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△11	—	
合計	△11	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△11	—	燃料費の執行節減による減
合計	△11	—	

単位事業名	調査研究	予算額	△ 3,487千円
-------	------	-----	-----------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
諸収入・ 畜産業受託事業収入	△3,434	—	試験研究受託事業収入 (国研)農業・食品産業技術総合研究機構
一般財源	△53	—	

単位事業名	調査研究	予算額	△ 3,487千円
-------	------	-----	-----------

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	△3,487	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△50	—	提案公募の変更等による減
需用費	△3,194	—	燃料費の執行節減による減 提案公募の変更等による減
役務費	△243	—	提案公募の変更等による減
合計	△3,487	—	